

# 令和6年度 施政方針達成状況調書(3月末現在)

事業達成率の基本的な考え方	
1 委託	未契約は0%、契約済み未完了は50%、完了で100%
2 工事	未契約は0%、契約済み未完了は50%、完了で100%
3 用地	協議中は0%、契約済み未完了は50%、完了で100%
4 補償	未契約は0%、契約済み未完了は50%、完了で100%
5 イベント	中止は0%、開催予定は50%、開催済で100%
6 年間通してのソフト事業	9月末は50%、年度末で100%
7 補助金	未交付決定は0%、交付決定済み未精算は50%、精算済みで100%
8 負担金	未支出は0%、支出済みで100%

※上記により難しい場合は、各事業の指標(人数、件数等)により算出してください。  
 【例】達成状況：計画件数100件(A)、実績件数60件(B)  
 事業達成率：(B)/A=60%

## 1. 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり

(単位:千円)

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未達の理由及び今後の対策
1-1	防災行政無線デジタル化事業 (市民生活部 生活安全課)	アナログ方式の同報系防災行政無線をデジタル方式に更新するための工事を令和4~7年度に行う。 ○工事 ひたちなか市デジタル同報系防災行政無線設備整備工事 親局更新, 再送信子局整備 等 ○委託 ひたちなか市デジタル同報系防災行政無線設備整備工事監理業務委託	382,652	382,652	382,652	0	契約済 令和6年度分事業完了  ○工事期間：令和4~7年度 ○入札方式：一般競争入札 ○契約金額：13億4,750万円 (工事) 1,604万2千円 (委託) ○令和6年度の工事内容：子局の整備, デジタル式戸別受信機配備 等	100%	
1-2	要安全確認計画記載建築物耐震化支援事業 (都市整備部 建築指導課)	○災害時における緊急物資の輸送路の確保などの支援体制強化を図るため、対象となる沿道建築物の耐震診断や耐震設計及び改修工事に要する費用を補助する。  ○耐震診断支援事業 6棟(補助率 国1/2, 県1/3, 市1/6) ○耐震設計支援事業 1棟(補助率 国1/2, 県1/6, 市1/6) ○耐震改修支援事業 1棟(補助率 国2/5, 県1/6, 市1/6)	34,548	0	0	0	○耐震診断支援事業 0棟/6棟(計画棟数) → 0棟/0棟 ○耐震設計支援事業 0棟/1棟(計画棟数) → 0棟/0棟 ○耐震改修支援事業 0棟/1棟(計画棟数) → 0棟/0棟	-	耐震診断義務付け道路の路線一部変更により、対象建築物が7棟から1棟(解体予定)となったことから、予定していた事業を見直したため。 (※事業費は3月補正にて不用額として対応)
		○耐震診断支援事業(繰越) 1棟(補助率 国1/2, 県1/3, 市1/6)	3,086	0	0	0	○耐震診断支援事業(繰越) 0棟/1棟(計画棟数) → 0棟/0棟	-	同上
1-3	大規模盛土造成地変動予測調査事業 (都市整備部 建築指導課)	○地震発生に伴う盛土造成地の変形や崩壊を防止するため、これまでに実施した現地調査の結果に基づき、対象造成地について安全性を確認するための第二次スクリーニングを実施する。 ○委託 大規模盛土造成地変動予測調査業務委託(補助率 国1/3)	14,993	15,169	12,375	0	○委託 大規模盛土造成地変動予測調査業務委託完了	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-4	総合防災訓練事業 (市民生活部 生活安全課)	○総合防災訓練事業 8月31日(土)午前9時～正午 感染症発症者が複数確認されている中で大地震、 津波の発生を想定し、自主防災会や小・中学校、 関係機関参加による総合防災訓練を実施する。	2,500	1,589	1,087	0	○令和6年8月31日(土)訓練中止 ⇒57か所の指定避難所を開設し、74自主防災会、約 6,000人の参加を予定していたが、台風第10号の影 響により、訓練を中止した。 ※参加賞(防災啓発品)については配布済 ○令和6年10月29日(火)に自主防災会を一堂に会 した防災に係る意見交換会を実施。 ○中止となった総合防災訓練の代替として、冬季夜 間帯における避難所開設・運営検証を指定避難所5 箇所で行った。避難所開設担当の市職員のほか、地元 自治会及び学校関係者の参加のもと、夜間停電時の 対応や防寒対策について確認した。	100%	
1-5	防災リーダーの育成 (市民生活部 生活安全課)	○自主防災組織防災リーダー育成支援事業 防災士資格取得に係る受講料・登録料を補助す る。(上限8千円)	100	64	56	0	○申請件数 : 6件 ○資格取得者数 : 7人	100%	
1-6	配水管の耐震化 (水道事業所)	○配水管布設工事 6件 (L=1,650m)  ○配水管布設替工事 16件 (L=4,130m)  ○重要給水施設配水管更新工事 (R5～6継続費) 1件 (L=563.9m)  ○配水幹線布設(替)工事 (R5～6継続費) 2件 (L=291.4)	661,223	1,374,974	558,527	812,806	○配水管布設工事 完了 6件(1459.4m)  ○配水管布設替工事 完了 15件(4293.4m)  ○重要給水施設配水管 完了 1件(338.7m) 未契約 2件(928.5m)  ○配水幹線布設(替)工事 完了 2件(290.6m) 未契約 3件(247.0m)	83%	
		○配水管布設替工事 (R5繰越) 2件 (L=817.3m)  ○重要給水施設配水管更新工事 (R5繰越) 1件 (329.6m)  ○配水幹線布設(替)工事 (R5繰越) 1件 (244.9m)	379,221	379,221	354,530	0	○配水管布設替工事 (R5繰越) 完了 2件(862.7m)  ○重要給水施設配水管更新工事 (R5繰越) 完了 1件(338.7m)  ○配水幹線布設(替)工事 (R5繰越) 完了 1件(247.0m)	100%	
1-7	那珂川堤防の整備促進 (建設部 河川課)	○那珂川無堤部の築堤の促進、中丸川・早戸川水 門への常設排水ポンプの設置を国に要望	-	-	-	-	○那珂川改修期成同盟会、県央地域首長懇話会、県 政要望、市単独要望を通じ国に対して那珂川の早期 改修を求める要望書を提出	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-8	雨水幹線の整備 (建設部 河川課)	○中丸川流域における浸水被害軽減プランの促進 高場雨水1号幹線詳細設計委託 L=360m 大島第1幹線詳細設計委託 L=230m 大島第2幹線現場管理委託(R6・R7)N=1式 高場雨水1号幹線管きよ布設工事 L=160m (全体設計R6・R7) 高場雨水4号幹線管きよ布設工事 L=290m (全体設計R6・R7) 大島第1幹線管きよ布設工事 L=181m (全体設計R6・R7) 大島第2幹線管きよ布設工事 L=540m (全体設計R5・R6・R7) 用地買収 A=1,406㎡ 4人	1,993,290	2,012,294	86,660	1,925,634	○中丸川流域における浸水被害軽減プランを策定 高場1号幹線委託 完了 大島第1幹線委託 完了 大島第2幹線委託 契約済 高場1号幹線工事 契約済 高場4号幹線工事 契約済 大島第1幹線工事 契約済 大島第2幹線工事 契約済 用地買収(1人) 契約済 用地買収(3人) 協議中	56%	
		○中丸川流域における浸水被害軽減プランの促進 大島第4幹線詳細設計委託 L= 90m 高場雨水4号幹線管きよ布設工事 L= 48m 大島第1幹線管きよ布設工事 L=153m 大島第2幹線管きよ布設工事 L=540m (全体設計R5・R6・R7) 雨水貯留施設(田彦小)整備工事 N=1式	883,044 (繰越)	884,522	884,522	0	○中丸川流域における浸水被害軽減プランを策定 大島第4幹線委託 完了 高場4号幹線工事 完了 大島第1幹線工事 完了 大島第2幹線工事 契約済 (R5分完了) 雨水貯留施設工事 完了	100%	
		○中丸川流域における浸水被害軽減プランの促進 高場雨水4号幹線管きよ布設工事 L=151m	315,921 (事故繰越)	315,921	313,918	0	○中丸川流域における浸水被害軽減プランを策定 高場4号幹線工事 完了	100%	
		○その他の雨水幹線の整備 武田雨水管きよ詳細設計委託 N=1式 佐和駅東雨水管きよ詳細設計委託 N=1式 六ッ野雨水管きよ詳細設計委託 N=1式 大島第9幹線分水施設設計委託 N=1式 武田雨水管きよ布設工事(第4) L= 45m 武田雨水管きよ布設工事(第3) L=150m 佐和駅東雨水管きよ布設工事 L=158m 佐和駅東雨水管きよ布設工事 L= 74m 船窪雨水管きよ布設工事 L=105m 船窪雨水管きよ布設工事 L= 90m	222,900	203,929	93,170	110,759	○その他の雨水幹線の整備 武田委託 完了 佐和駅東委託 完了 六ッ野委託 完了 大島第9幹線委託 完了 武田工事 未契約 (R7. 4月契約予定) 武田工事 契約済 佐和駅東工事 未契約 (R7. 4月契約予定) 佐和駅東工事 完了 船窪工事 完了 船窪工事 完了	75%	
		○その他の雨水幹線の整備 東部第2雨水管きよ布設工事 L=201m 佐和駅東雨水管きよ布設工事 L= 17m 佐和駅東雨水管きよ布設工事 L=127m 武田雨水管きよ布設工事(第4) L=129m 武田雨水管きよ布設工事(第3) L=168m 六ッ野雨水管きよ布設工事(高場) L= 95m 六ッ野雨水管きよ布設工事(大島) L=300m	340,153 (繰越)	338,675	328,361	0	○その他の雨水幹線の整備 東部第2工事 完了 佐和駅東工事 完了 佐和駅東工事 完了 武田工事 完了 武田工事 完了 六ッ野工事 完了 六ッ野工事 完了	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-9	河川の改修 (建設部 河川課)	○一級河川大川の改修 大川改修工事 L=169m 用地買収 A=726㎡ 4人 救農橋整備事業負担金 N=1式 大川改修工事 L=277m	383,757	383,757	46,315	337,442	○一級河川大川の改修 大川改修工事 未契約 (R7.5月契約予定) 用地買収(4人) 協議中 救農橋負担金 未支出 大川改修工事 未契約 (R7.7月契約予定)	0%	用地については、地権者との交渉が難航しているため。また、負担金については、県事業に遅れが生じ、支出できないため。
		○一級河川大川の改修 大川改修工事 L=113m 新宮田橋付帯工事 N=1式 大川改修付帯工事 N=1式 救農橋整備事業負担金 N=1式	122,898 (繰越)	122,898	121,371	0	○一級河川大川の改修 大川改修工事 完了 新宮田橋工事 完了 改修付帯工事 完了 救農橋負担金 支出済	100%	
		○県に一級河川早戸川及び中丸川の早期改修を要望	-	-	-	-	○県央地域首長懇話会、県政に対する要望事項を通じ県に対して一級河川早戸川及び中丸川の早期改修を求める要望書を提出	100%	
1-10	広域避難計画の策定 (市民生活部 生活安全課)	○広域避難計画の策定 ・県及び関係市町村と連携した協議。	-	-	-	-	○県が「1人当たりの避難所面積」を3㎡に拡大したことに伴い、国・県が主体となって、更なる避難先の確保に取り組んでいる。市では、4月～5月にかけて、県内の避難先14自治体を訪問し、計画策定の取組状況の説明や、避難所となる公共施設の状況の確認、避難受入れに係る意見交換などを行った。また、千葉県内の避難先10自治体に対しては、県が1月から指定避難所の居住面積の調査を行っている。引き続き、県と連携し、計画策定に取り組む。	-	
1-11	新安全協定の運用 (市民生活部 生活安全課)	○東海第二原発の再稼働問題への対応	-	-	-	-	○県が「1人当たりの避難所面積」を3㎡に拡大したことに伴い、国・県が主体となって、更なる避難先の確保に取り組んでいる。市では、4月～5月にかけて、県内の避難先14自治体を訪問し、計画策定の取組状況の説明や、避難所となる公共施設の状況の確認、避難受入れに係る意見交換などを行った。また、千葉県内の避難先10自治体に対しては、県が1月から指定避難所の居住面積の調査を行っている。引き続き、県と連携し、計画策定に取り組む。	-	
1-12	安定ヨウ素剤事前配布事業 (保健福祉部 健康推進課)	○万が一の原子力災害に備えて、全市民を対象とした安定ヨウ素剤の事前配布を、配布協力薬局のほかヘルス・ケア・センター及び那珂湊保健相談センターで行う1歳6カ月児健診の機会を活用した配布会にて行う。	17,400	15,075	14,507	0	○配布数(令和6年4月～令和7年2月) 【丸剤】 配布者数 24,043人 (令和6年3月更新以降累計配布者 24,135人) 配布率15.26% 【ゼリー剤】 配布者数 983人 (令和6年3月更新以降累計配布者 1,691人) 配布率57.96% ○配布会回数(令和6年4月～令和7年3月) 36回(1歳6カ月児健診と合わせて開催)	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-13	消防本部・笹野消防署庁舎建設 工事 (広域事務組合消防本部)	○消防本部・笹野消防署庁舎建設 令和1年度 基本計画 令和2～3年度 基本設計・実施設計 令和4～6年度 建設工事 監理業務委託令和6年度 令和6年度 外構工事その1 令和6～7年度 旧庁舎解体工事	1,320,341	1,320,341	1,281,553	36,541	○建設工事 契約済み(R4.8.8契約)完了 契約期間 R4.8.9からR6.10.21 ○監理業務委託 契約済み(R4.8.17契約)完了 契約期間 R4.8.18からR6.10.23 ○外構工事その1 契約済み(R6.9.13契約)未完了 契約期間 R6.9.17からR7.5.14 ○旧庁舎解体工事 契約済み(R7.3.28契約)未完了 契約期間 R7.3.31からR7.11.25	50%	
1-14	消防指令システム・消防救急デ ジタル無線システム更新工事 (広域事務組合消防本部)	○消防指令システム・消防救急デ ジタル無線システム更新 令和2～3年度 基本設計・実施設計 令和5～6年度 システム更新工事 監理業務委託	463,980	463,980	463,980	0	○システム更新工事 契約済み(R5.5.31契約)完了 契約期間 R5.6.1からR7.3.14 ○監理業務委託 契約済み(R5.6.19契約)完了 契約期間 R5.6.20からR7.3.18	100%	
1-15	空き家対策 (市民生活部 市民活動課)	○危険空き家の所有者等に対する適正管理指導 ○発生抑制に関する取組 ○有効活用の実施	13,221	12,063	12,063	0	・所有者に対する適正管理の指導 指導件数224件(解決・是正件数113件) ・市報やホームページ、SNSでの啓発 ・啓発リーフレットの送付 固定資産税納税通知(4月 65,000部) 後期高齢者医療保険料納入通知 (7月 25,000部) ・無料相談会 年2回 7月28日、11月24日実施 ・空き家バンク事業 新規登録物件数 6件 成約件数 6件 新規利用登録数 13件 ・相続財産清算人選任申立 3件	100%	
1-16	消費生活相談の実施 (市民生活部 女性生活課)	○消費生活相談員による相談を実施し、消費者被 害の救済、未然防止を目指す。	8,081	8,306	8,278	0	消費生活相談員 3名 相談件数 953件 主な相談内容 商品一般 123件 工事・建築 62件 役務その他サービス 40件	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
1-17	消費生活の啓発推進 (市民生活部 女性生活課)	○若者から高齢者までの全世代における消費者被害の未然防止のため、講演会または講座を開催し、消費者教育の推進を図る。 ○悪質商法やニセ電話詐欺等の被害を防止するため、65歳以上の世帯を対象に、自動通話録音装置の貸出を行う。	2,239	2,181	1,975	0	○消費者教育の推進 ①若年層への啓発（講演会または講座の実施） 【講演会】 小学校1校（128名）、中学校5校（830名）、高等学校6校（901名） 【消費生活体験講座】 小学校学童クラブ2校（合計206名） ②高齢者等への啓発 ふれあい講座の開催28回（合計1,469名） 自治会・高齢者クラブ等へ啓発 ○自動通話録音装置の貸出 貸出数 132台	100%	

## 2. 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
2-1	地域福祉推進体制整備事業（生活支援体制整備事業）の実施 (保健福祉部 地域福祉課)	○地域福祉コーディネーターの配置 ○地域の福祉課題の抽出・解決について話し合う場（協議体）の開催	18,166	18,166	18,166	0	○地域福祉コーディネーターを社会福祉協議会、勝田二中学区、大島中学区、田彦中学区に配置 ○開催状況 勝田二中学区：6月、10月、2月 大島中学区：6月、8月、11月、12月、2月 田彦中学区：6月、10月、2月	100%	
2-2	人材育成講座の開催 (保健福祉部 地域福祉課)	○社会福祉協議会と共同開催し、地域福祉の担い手の育成を行う	316	316	207	0	○「はじめまして」を「一緒に」へ～地域活動のヒントを探る～をテーマに、地域活動を積極的に行う二人を講師にSNSを活用した世代をつなぐ関係づくりについて、トークセッション、グループワークを行った。 参加者24名	100%	
2-3	地域福祉座談会（井戸端会議）の開催 (保健福祉部 地域福祉課)	○社会福祉協議会と共同開催し、地域の福祉課題について市民自らが話し合い、支え合いの必要性を認識してもらうことで、地域福祉について意識の醸成を図る（全8回）	160	160	26	0	○「ご近所さんのおつきあい～地域福祉のきっかけづくり～」をテーマに開催した。 ○開催状況（参加者105名） 那珂湊7/20、勝田二中7/21、勝田三中7/25、大島7/29、美乃浜7/30、田彦7/31、勝田一中8/3、佐野8/4	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
2-4	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業 (保健福祉部 高齢福祉課)	○75歳以上の高齢者に対する個別支援と通いの場等への積極的な関与等を実施する。 ・個別支援：KDBシステムにおいて支援対象者を特定し戸別訪問等を行う。 【健康状態不明者】健診及び医療機関未受診の高齢者 161名 【低栄養者】前年度集団健診の結果でBMI20以下の高齢者 76名のうち希望者 【重症化予防】健診結果が受診勧奨で医療機関未受診の高齢者 7名 糖尿病治療中断者 (前年度健診未受診・病院未受診) 96名 特定保健指導の継続者 (健康推進課より移行) 84名 ・通いの場への積極的な関与：保健師等によるフレイル予防の啓発活動や健康教育、参加者の現状把握 【対象場所】シルバーリハビリ体操教室・ときめき元気塾・フレイル予防教室・移動スーパー等 159か所、218回開催	36,431	37,111	36,490	0	○個別支援 【健康状態不明者】訪問数 83名 【低栄養者】訪問数 7名 【重症化予防】訪問数154名 ○通いの場への積極的な関与 実施状況：167か所、開催217回、3,684名 健診会場での当事業の普及啓発：12か所 408名	100%	
2-5	介護予防ポイント事業 (保健福祉部 高齢福祉課)	地域の介護予防活動の支援を図るために、登録団体等が実施する介護予防に資する通いの場への参加者やボランティアに対してポイントを付与し、ポイント数に応じた記念品を贈与する事業を新たに行う。	8,730	8,730	2,136	0	○登録団体数 104団体（令和7年3月末日時点）  ○記念品 令和6年6月～令和7年2月末日までの申請に基づき、令和7年3月に参加者及びボランティア1,098人に記念品を配布した。	100%	
2-6	地域包括支援センターの増設 (保健福祉部 高齢福祉課)	那珂湊地区を担当エリアとする「東部地域包括支援センター」を、那珂湊中学校区域と美乃浜学園区域とに分割し、美乃浜学園区域を担当する「美乃浜学園区地域包括支援センター」を令和6年10月1日より設置する。	8,250	8,250	8,250	0	募集要領に基づき募集を行ったところ、1法人から応募があり、4月22日に開催された地域包括支援センター事業運営委託法人選定委員会において、応募内容等の審査の結果、美乃浜学園区地域包括支援センター事業運営委託法人として「社会福祉法人新世会」を選定した。その後、地域包括支援センター運営部会において承認・決定され、9月30日に委託契約を締結し、10月1日に美乃浜学園区地域包括支援センターを設置した。	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
2-7	介護基盤整備等の整備 (保健福祉部 介護保険課)	A 介護施設等開設準備支援事業 介護施設等の円滑な開設に向け、開設に必要な経費(備品等)について支援する。  (1) 「介護老人福祉施設(特養)」1施設 989千円×定員90名=89,010千円 (2) 「小規模多機能型居宅介護」1施設 989千円×定員9名=8,901千円  (1) + (2) =97,911千円	83,061	97,911	97,911	0	(1) 「介護老人福祉施設(特養)」 ・補助対象者 社会福祉法人 仁心会 ・補助金交付決定 R6. 9. 30 R6. 11. 27補助金支出済み  (2) 「小規模多機能型居宅介護」 ・補助対象者 社会福祉法人博友会 ・補助金交付決定 R6. 9. 30 R7. 4. 11補助金支出済み	100%	
		B 地域密着型サービス施設整備支援事業 (令和5年度→6年度 繰越事業) 介護サービス提供体制の整備を促進するため、地域密着型サービスの整備(建設)に要する経費について支援する。  「小規模多機能型居宅介護」 1施設 33,600千円					33,600 (繰越)		
2-8	基幹相談支援センター運営事業 (保健福祉部障害福祉課)	地域における相談支援の拠点となる基幹相談支援センター主催により各種研修会を開催し、市内の障害福祉サービス事業所及び専門機関との連携強化を図る。	21,949	21,949	21,949	0	・相談支援連絡会毎月開催(相談支援専門員の意見交換、新規事業所の情報共有等) ・事業所向け研修会開催 6回延べ178人参加 ・事業所向け専門機関相談会開催 6回	100%	
2-9	地域医療体制の充実と救急医療体制の強化 (保健福祉部 健康推進課)	○救急医療医師確保対策事業補助 日立製作所ひたちなか総合病院に対し、 ①社会連携講座による高度専門医師確保への補助(医師6人) ②救急医療に要する麻酔医確保への補助(常勤医師3人、非常勤医師 延448人)  ○いばらき県央地域連携中枢都市圏連携事業 ①周産期医療提供体制の維持・確保事業 水戸赤十字病院における産婦人科医の確保に対する財政的支援(負担金)	51,247	27,012	26,730	0	○医師確保状況 ①社会連携講座 高度専門医師 2人確保 ②麻酔科医確保 常勤 3人確保、非常勤 延482人確保見込  ○いばらき県央地域連携中枢都市圏連携事業 ・周産期医療提供体制の維持・確保事業 水戸赤十字病院における産婦人科医の確保に対する財政的支援を行った。	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
2-10	新型コロナウイルスワクチンの接種 (保健福祉部 健康推進課)	○令和6年4月1日から予防接種法上、定期B類疾病（65歳以上を対象）に位置付けられたことにより、医療機関での個別接種体制の構築と、対象者に対して予診票発送業務を実施する。 ○対象者：昭和34年12月31日以前生まれの者、昭和35年1月～3月生まれの者及び60～64歳までの特例者に対し、予診票の発送業務を実施する。 ○接種期間：令和6年10月1日～令和7年3月末迄	111,684	240,011	140,483	0	事業実施状況 【接種体制の構築】 新型コロナウイルスワクチン接種実施協力医療機関市内46箇所。市外については、茨城県予防接種広域事業として茨城県医師会と契約を実施。 【予診票発送状況】 昭和34年12月31日以前生まれの者：令和6年9月19日発送済（42,141人、インフルエンザと一体型仕様による通知） 昭和35年1月～3月生まれの者：令和6年12月20日に発送（454人） 対象者42,595人/11,479人 接種率：26.9%	100%	

### 3. 子育て世代に選ばれるまちづくり

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-1	こども計画策定 (子ども部 子ども政策課) (子ども部 幼児保育課)	○こども施策の一体的な推進に取り組むため、こども計画を策定する。 ○子育て支援に関するサービスの利用状況や、今後の利用希望等を把握するため、未就学児の子を持つ保護者に対してアンケートを実施する。	2,764	1,668	1,544	0	○子ども・子育て審議会を開催し、こども計画を策定した。 委員数 12人 開催回数 3回（9/27, 11/14, 2/12） ○アンケート調査概要 期間 5/23～6/7（16日間） 対象 市内居住の未就学児童の保護者 方法 調査依頼のハガキを発送 webフォームにより回答 配布 1,000人（無作為抽出） 回収 510件（回収率51.0%）	100%	
3-2	一定所得層の新婚世帯の賃貸住宅への入居や住宅取得支援 (企画部 企画調整課)	○結婚新生活支援事業 結婚に伴う経済的負担を軽減するため、条件を満たす新婚世帯に対し、住宅取得費用等の一部を補助する。 【積算】 新規：180千円×38件 継続：120千円×3件	7,200	7,200	7,178	0	○結婚新生活支援事業 【令和6年度実績】 ■助成件数：38件 ■助成金支払額計：7,178千円 ■年間見込み件数：41件 ※事業達成率 38/41≒92.7	93%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-3	移住・定住促進に向けた子育て世代等の住宅取得支援 (企画部 企画調整課)	○子育て世代・三世帯同居等住宅取得支援事業 中学生以下の子を持つ県外出身の子育て世代の定住を促進するため、対象世帯の物件取得に対して助成を行う。また、住宅取得によって三世帯同居・近居になる世帯、三世帯同居・近居のために増改築を行う世帯に関して引き続き支援を行い、三世帯同居・近居を促進する。 【積算】 子育て世帯200千円×30件=6,000千円 同居(取得)200千円×10件=2,000千円 同居(増改築)150千円×5件=750千円 近居(取得)150千円×40件=6,000千円	14,750	14,750	11,300	0	○子育て世代・三世帯同居等住宅取得支援事業 【令和6年度実績】 ■助成件数：62件(子育て38件、三世帯等24件) ■助成金支払額計：11,300千円 ■年間見込み件数：85件 ※事業達成率 62/85=72.9%	73%	
3-4	低所得妊婦支援事業 (子ども部 子ども未来課)	○低所得の妊婦に対し、産科受診を促すとともに経済的負担を軽減するため、初回産科受診料の助成事業を開始する。	300	27	7	0	助成状況 ○低所得妊婦初回産科受診者 2人	100%	
3-5	産後ケア事業 (子ども部 子ども未来課)	○産後も安心して子育てができるよう、自宅に助産師等が訪問するアウトリーチ型産後ケアの導入や、利用可能日数の増加、利用者負担の軽減措置の拡大などを図り、利便性を高める環境づくりに取り組む。	3,838	3,838	3,091	0	利用状況(3月末現在) ○実利用者数 37人 ○利用状況(重複利用あり) 宿泊型 1泊2日 23人 2泊3日 15人 3泊4日 3人 デイサービス型 21人 アウトリーチ型 2人	100%	
3-6	乳児健康診査 (子ども部 子ども未来課)	○乳児の健康保持や虐待の予防及び早期発見の効果があることから、新たに、生後1か月頃の乳児に対する健康診査費用の助成を行うことにより、出産後から切れ目のない効果的な伴走型相談支援を実施する。	6,258	5,038	3,640	0	助成件数(3月末現在見込) ○生後1か月健康診査の受診者 641人(実績582人+見込み59人)	100%	
3-7	子育て支援コンシェルジュの配置 (子ども部 子ども政策課)	○子育て支援コンシェルジュを配置し、行政の子育てサービスだけでなく、子育て家庭に役立つまちの情報も含めて一体的に案内・発信する。窓口や電話での案内のほか、インスタグラム等を活用しながら、ひたちなか市での子育ての楽しみ方を発信していく。	7,297	7,650	7,459	0	相談件数等(3月末現在) ○窓口 4件 ○電話 8件 ○オンライン 2件 ○HPによる問い合わせ 2件 ○インスタグラムフォロワー数 1,078	100%	
3-8	子育て支援センターふぁみりこ運営 (子ども部 子ども政策課)	○子育て支援の拠点として、あそびのひろば、子育てに関する相談、講座の開催、子育て関連情報の提供、一時預り等を実施していく。また、子育て中の親がリフレッシュできるような託児付き講座を開催し、その後の利用に繋げていく。	78,252	76,336	75,755	0	利用状況(3月末現在) ○新規利用登録者数 2,348人 ○利用者数 26,415人 (平均利用者数 81人/日) ○一時預り利用者数 959人	100%	
3-9	子どもの遊び場運営事業 (子ども部 子ども政策課)	○小学生までの児童とその保護者が安心・安全に遊べる場を子育て支援・多世代交流施設内に開設する。	370	370	251	0	長期休暇期間は平日3日間、通常は土曜日・日曜日に開催。 ○新規登録者 1,157名(3月末現在) ○利用者数 3,342名(3月末現在)	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-10	子どもの居場所運営支援補助金 (子ども部 子ども政策課)	○地域の中で子どもの居場所を運営する団体に対し補助金を交付する。 ・子どもの居場所8団体 ・子どもふれあい館 ・長松子ども館	19,360	18,028	17,989	0	○子どもの居場所運営支援補助金 ・5団体(放課後のてらこや・医療法人博仁会・子どもサロンほっとさの・まちのこ団・ぼぼ道場) (5/7~6/26交付) ○子どもふれあい館運営支援補助金 (5/9交付) ○長松子ども館運営支援補助金 (5/24交付) ○子ども・子育て支援環境整備補助金 (9/3交付)	70%	
3-11	保育環境の充実 (子ども部 幼児保育課)	○病児保育施設を整備する社会福祉法人に対し補助金を交付する。 ・フロイデキンダーガルテンひたちなか(創設) 令和7年4月開設予定 ※R6は全体の90%の補助	39,767	37,622	37,622	0	○子ども・子育て支援施設整備事業費補助金 補助対象者:(社福)博友会 1/20 補助金交付決定 2/14 補助金交付 3/17 竣工 3/18 精算	100%	
3-12	公立幼稚園の集約 (子ども部 幼児保育課)	○那珂湊地区の幼児教育施設を那珂湊第三幼稚園へ集約する。	0	0	0	0	○那珂湊第一幼稚園の状況 R6.3.31 休園 R7.3.31 閉園 ○那珂湊第三幼稚園の園児数(4月1日時点) 年度 3歳 4歳 5歳 合計 R5 12人 16人 14人 42人 R6 21人 19人 16人 56人 ※R6の4歳児19人のうち5人が那珂湊第一幼稚園からの転園者(在園者全員が転園)	100%	
3-13	公立学童クラブの育成支援の充実 (教育委員会 青少年課)	○放課後児童支援員認定資格研修をはじめ、各種研修の受講を積極的に行い、支援員の資質の向上に努める。 ○大学生等の有償ボランティアやシルバー人材センター等の多様な人材を活用する。	662,887	671,998	658,558	0	○令和6年度認定資格受講対象支援員10名(会計年度任用職員7名、有償ボランティア3名) ○研修計画件数 12件(15件実施) ○有償ボランティア登録数 195名 ○シルバー人材センター派遣 11校19名	100%	
3-14	学校介助員 (教育委員会 指導課)	○学校介助員配置事業 小中学校に在籍する障害のある児童・生徒を援助し、適正な教育活動の充実を図る。	139,424	124,683	124,482	0	○配置している学校数 ・小学校16校 中学校5校 義務教育学校1校 ○配置人数 ・学校介助員87名 ・学校看護師1名 ・児童生徒177名に配置 ・勤務形態を3種類に分け、児童生徒の実態等に合わせて配置した。 ○学校介助員の研修会 ・講師を招き、効果的な支援方法についての研修会を年度中に2回実施した。	100%	
3-15	I C T教育の推進 (教育委員会 指導課)	○I C T教育を効果的に推進するための教職員研修の実施 ○ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング教育の実施(中学校技術科・総合的な学習)	308	308	308	0	○全校を対象にI C T活用に係る研修及び推進協議会を実施 ・I C T活用指導力向上研修会(上級) 8/1及び8/8に実施 参加者73名 ・I C T活用研修(figjam) 8/9に実施 参加者32名 ・市StuDX推進協議会 5/23及び7/23に実施 参加者50名 ○中学校技術科において、テキストプログラミング教材を活用した授業を実施 ・中学校8校のうち6校で実施済	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-16	小学校・義務教育学校（前期） 水泳学習委託事業 （教育委員会 学校管理課）	○小学校水泳学習委託 民間プール施設を使用した水泳授業 3事業者4施設で実施	44,101	44,101	41,141	0	○小学校水泳学習委託 事業実施完了	100%	
		○義務教育学校（前期）水泳学習委託 美乃浜学園水泳授業への指導員派遣	693	693	693	0	○義務教育学校（前期）水泳学習委託 事業実施完了	100%	
3-17	小中学校給食室改修事業 （教育委員会 学校管理課）	○高野小学校給食室増築工事 ドライシステム化による給食室増築 ※債務負担行為（R6～R7）	184,469	184,469	166,588	0	○給食室増築工事（建築、電気、機械、監理） R6.9.27契約、工期R6.9.28～R7.7.15 R6分完了	100%	
		○津田小学校給食室改修工事 ドライシステム化による給食室改修	346,714 （繰越）	346,714	281,330	0	○給食室改修工事（建築、電気、機械、監理） R6.5.31契約、工期R6.6.3～R7.3.10 完了	100%	
3-18	小中学校給食室改修事業 （教育委員会 保健給食課）	○高野小給食室ドライシステム化備品購入 給食室改修工事に伴う給食用備品購入 ※債務負担行為（R6～R7）	0	0	0	0	○ドライシステム化給食用備品購入 R6.9.27契約 R6.9.28～R7.8.29	50%	
		○津田小給食室ドライシステム化備品購入 給食室改修工事に伴う給食用備品購入	95,105 （繰越）	95,105	78,430	0	○ドライシステム化給食用備品購入 R6.6.27契約 R6.6.28～R7.3.31	100%	
3-19	学校給食公会計化事業 （教育委員会 保健給食課）	○学校給食公会計化事業 給食提供に必要な賄材料の購入	715,851	717,451	717,451	0	○給食用賄材料購入	100%	
3-20	コミュニティ・スクール （教育委員会 指導課）	○地域とともにある学校づくり推進事業 全小・中・義務教育学校において、学校運営協 議会を設置し、地域の子供たちの成長を支え育て ていくため、その地域でどのような子供を育成し ていきたいかを学校と家庭・地域が同じ立場の委 員となり熟議し、学校運営に反映していく。	1,356	1,356	1,336	0	○市内全校での協議会の実施 ・第1回学校運営協議会（4月～5月） 地域で育てたい子供像の共有とその施策を検討し た。 ・第2回学校運営協議会（6月～7月） 学校評価アンケート結果等より、学校、地域、家 庭での課題を洗い出し、地域で子供たちの成長を支 える具体的な手立てを検討した。 ・第3回学校運営協議会（10月～11月） 授業参観等を実施し、その後の協議において地域 で子供たちの成長を支える具体的な手立てを検討し た。 ・第4回学校運営協議会（2月） 1年間を通しての取組の振り返りを行い、学校運 営に関する評価を行った。 〈協議後に取り組んだ成果〉 ・地域づくりの会と連携して、「子ども110番の 家」の新規登録者数を増やした。 ・中学生が自らコミセン祭の出店を企画・運営し自 己有用感やシビックプライドを育んだ。	100%	
3-21	十五郎穴横穴群の保存活用の検 討 （教育委員会 総務課）	○十五郎穴横穴群保存活用計画策定に向けた準備 ○十五郎穴横穴群国指定・虎塚古墳国指定50年記 念シンポジウムの開催	798	798	696	0	○十五郎穴横穴群保存活用計画策定委員の検討 ○十五郎穴横穴群国指定・虎塚古墳国指定50年記念 シンポジウム 【開催日】R7.2.8（土） 【場 所】市文化会館 小ホール 【内 容】講演、パネディスカッション 【参加者数】304人	100%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
3-22	奨学資金貸与事業 (教育委員会 総務課)	○大学、専門学校等に通う学生の就学支援として、無利子での貸与を行う。 ○事業の拡充 ・貸与対象に高等学校4、5年生に相当する「高等学校専攻科」を加える。 ・貸与条件の一つである保証人の居住地を市内から国内に緩和する。	17,160	13,480	8,820	0	○奨学資金貸与決定者に対し、奨学金は年4回(5,7,10,1月)、入学準備金は3月に貸与 【奨学金】貸与者 17名 貸与額 7,320千円 【入学準備金】貸与者 3名 貸与額 1,500千円 ○事業拡充による効果 ・保証人の居住地緩和 1名(入学準備金)	100%	

#### 4. 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
4-1	地域計画推進事業 (経済環境部農政課)	那珂湊中地区及び美乃浜学園地区の2地区において「将来の農地の在り方に関する座談会」を開催し、その結果を公表する。その後、農業委員会事務局が作成する目標地図と合わせて「地域計画」とし、年度内に策定・公告する。	122	122	122	0	事業計画に基づき下記2地区の座談会を実施し、その内容をHPで公表した。 ・那珂湊中地区座談会参加者：24人 ・美乃浜学園地区座談会参加者：27人 目標地図については、12月中を目途に農業委員会事務局から素案を受取る。その後、関係者への説明会及び意見聴取を経て、年度内に地域計画として策定し、公告を行う。	100%	
4-2	ひたちなか市産ほしいもの魅力発信 (経済環境部農政課)	○「ひたちなか市産ほしいもの」の魅力を発信し認知度向上を図るため、市内外でのほしいもの物販や関西地域のメディア訪問、茨城県のアンテナショップ「IBARAKI sense」でのほしいもの作り体験など、各種PR事業を効果的に展開する。  ○ひたちなか・東海・那珂ほしいもの協議会への補助を継続し、消費者に信頼される産地形成を支援する。また「第18回ほしいもの品評会」及び「ほしいものフェア」の開催を支援し、生産技術の向上と産地のブランド化を図る。	3,085	3,085	3,085	0	○本市産ほしいものPR事業 ・飛鳥II PRブース出店(実施済) ・勝田駅ほしいもの販売会(実施済) ・サロンパスカップPRブース出店(実施済) ・茨城ロボッツPRブース出店(実施済) ・セブンシーズエクスペローラーPRブース出店(実施済) ・ダイヤモンド・プリンセスPRブース出店×2回(実施済) ・久保純子ひたちなか市ほしいものアンバサダー認定(実施済) ・石巻大漁まつりPRブース出店(実施済) ・茨城をたべよう収穫祭PRブース出店(実施済) ・関西メディア訪問(実施済) ・IBARAKI senseほしいものPR(実施済) ・エキナカマルシェ(実施済) ・県央特産品フェア(実施済) ・水戸駅ほしいもの販売会(実施済) ・羽田産直館ほしいものPR販売(実施済) ・日本橋イベントスペースPR販売(実施済) ・勝田全国マラソンほしいもの販売会(実施済) ・ヨークベニマルひたちなかフェア(実施済)  ○ほしいもの協議会に対して補助金交付済 協議会事業は以下のとおり ・第18回ほしいもの品評会(実施済) ・ほしいものフェア(実施済)	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
4-3	新規漁業就業者支援事業 (経済環境部 水産課)	○漁業協同組合と連携を図りながら漁業体験事業を実施する。	68	68	5	0	○漁業体験 ・第1回8/30(2名) 台風により中止 第2回10/25(3名) シケにより中止	—	台風及びシケにより安全確保が困難であったため中止となった。
4-4	魚食推進事業 (経済環境部 水産課)	○魚食普及活動実行委員会補助金 ①魚食普及講演会 ②魚食普及PR活動 ③カツオの薫焼き体験開催 ④水産物PR活動	5,000	5,000	4,824	0	○補助金交付決定済み(未精算) ①魚食普及講演会(6/30) さかなクンの「ギョギョッ!とびつくりお魚教室」1,300名参加 ②魚食普及PR活動 ・簡単魚料理レシピ動画紹介 4/10, 5/10, 6/10, 7/10配信開始 ・#ひたちなか魚でおうちごはんキャンペーン2024実施(10/10~12/10) ■・大型店連絡協議会加盟のスーパーでととの日キャンペーン開催 ③カツオの薫焼き体験開催 ・8/10実施 親子16組32名参加 カツオの薫焼き体験 ④水産物PR活動 ・ひたちなかアドベンチャー(10/5, 6) 旬な地魚と触れ合えるタッチプール実施 ・みなと産業祭(10/20) あんこうの吊るし切りのほか、旬な地魚と触れ合えるタッチプール実施	100%	
4-5	本格的な観光需要の回復 (経済環境部 観光振興課)	【集客イベントの開催及び開催支援】 自主イベントの開催や、各実行委員会等が開催するイベントの開催支援により、賑わいの創出と地域振興を図る。 ◇フラフェスティバル:運営, 県央PR ◇Lucky Fes2024:運営支援 ◇ビッグウェーブ:運営支援 ◇ティーンズロック:運営支援 ◇三鉄ものがたり鉄道検定試験:運営支援 ◇ひたちなか祭り:運営支援 ◇ひたちなか祭り花火大会:運営支援 ◇那珂湊野外劇:運営支援 ◇那珂湊海上花火大会:運営支援 ◇ROCK IN JAPAN in HITACHINAKA:運営支援 ◇Mフェス:運営支援 ◇ドッグフェスティバル:運営 ◇阿字ヶ浦海岸花火大会:運営支援 ◇日本夜市:運営支援 ◇コーヒーフェス:運営支援 ◇ディズニーミュージック&ファイヤーワークス:運営支援 ◇磯節全国大会:運営支援 ◇ひたちなか踊り事業:運営支援	59,294	40,932	39,252	0	【集客イベントの開催及び開催支援】 ◇フラフェスティバル:実施済 (入込客数12,326人) ◇Lucky Fes2024:実施済 (入込客数60,000人) ◇ビッグウェーブ:実施済 (入込客数1,870人) ◇ティーンズロック:実施済 (入込客数500人) ◇三鉄ものがたり鉄道検定試験:実施済 (入込客数80人) ◇ひたちなか祭り:実施済 (入込客数135,000人) ◇ひたちなか祭り花火大会:実施済 (入込客数75,000人) ◇那珂湊野外劇:実施済 (入込客数2,000人) ◇那珂湊海上花火大会:実施済 (入込客数40,000人) ◇ROCK IN JAPAN in HITACHINAKA:実施済 (入込客数206,871人) ◇Mフェス:実施済 (入込客数5,000人) ◇ドッグフェスティバル:実施済 (入込客数5,175人) ◇阿字ヶ浦海岸花火大会:実施済 (入込客数10,000人) ◇日本夜市:実施済 (入込客数500人) ◇コーヒーフェス:実施済 (入込客数23,000人) ◇ディズニーミュージック&ファイヤーワークス:実施済 (入込客数10,265人) ◇磯節全国大会:実施済 (入込客数612人) ◇ひたちなか踊り事業:雨天中止 ≪事業実施率:17/18≫	94%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
		【海水浴場開設及び開設支援】 阿字ヶ浦・平磯海水浴場の開設を支援するとともに、姥の懐マリンスプールの新たな利活用を進めることで、賑わいの創出と地域振興を図る。 ◇阿字ヶ浦海水浴場：開設支援 ◇平磯海水浴場：開設支援 ◇姥の懐マリンスプールの利活用	18,450	18,905	18,417	0	【海水浴場開設及び開設支援】 ◇阿字ヶ浦海水浴場：開設済（入込客数64,003人 ※開設日数35日間 台風で2日間閉鎖） ◇平磯海水浴場：開設済（入込客数14,039人 ※開設日数36日間 台風で1日間閉鎖） ◇姥の懐マリンスプールの利活用：アースデイ姥等で活用 ≪事業達成率：3/3≫	100%	
4-6	広域観光推進事業 (経済環境部 観光振興課)	【ひたちなか大洗リゾート構想推進事業】 2市町を一体的なエリアとして情報発信することで、誘客や滞在時間の延長を促進する。 また、2市町の地域食材を活用したグルメの普及を促進するとともに、新たなアクティビティを開発することで、観光消費額の向上に繋げる。 ◇開発グルメの普及促進 ◇渋滞対策（実証実験） ◇周遊バスの運行	5,100	5,100	5,018	0	【ひたちなか大洗リゾート構想推進事業】 ◇開発グルメの普及促進：完了 ◇渋滞対策（実証実験）：完了 ◇周遊バスの運行：完了	100%	
		【大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進事業】 各種広報活動やイベントの開催を通じて、サイクルツールズムを推進する。 ◇サイクリング動画を活用したサイクルツールズムの普及促進 ◇サイクリングイベントの実施	1,200	986	986	0	【大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進事業】 ◇サイクリング動画を活用したサイクルツールズムの普及促進：完了 ◇サイクリングイベントの実施：完了	100%	
4-7	お土産品開発・磨き上げ及び宿泊需要創出事業 (経済環境部 観光振興課)	【お土産品開発・磨き上げ事業】 観光協会と連携し、市内の事業者と県内のデザイナーをマッチングし、お土産品の開発・磨き上げを行うことで、観光消費額の向上に繋げる。  【宿泊需要創出事業】 観光協会と連携し、ナイトイベント等の宿泊需要を高めるイベントを企画・実施し、宿泊需要の創出に繋げる。	12,100	12,100	11,871	0	【お土産品開発・磨き上げ事業】 完了  【宿泊需要創出事業】 完了	100%	
4-8	中小企業事業活性化補助金 (経済環境部 商工振興課)	○市内中小・小規模事業者及び個人事業主の経営基盤・競争力の強化を図るため、それらに資する対象事業者の取組みに対して、経費の一部を補助する。  ①新製品・新技術等の開発 ②販路開拓に向けた展示会出展、 自社ホームページの作成・刷新 ③人材育成（技能訓練） ④人材確保 の取組みについて、補助を行う。	10,000	10,000	9,329	0	○中小企業事業活性化補助金申請状況 ①新製品等開発事業 ⇒03件、4,000千円 ②ビジネスマッチング事業 ⇒16件、2,571千円 ③技能訓練実施事業 ⇒21件、619千円 ④人材確保推進事業 ⇒13件、2,139千円 4事業合計 9,329千円	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
4-9	茨城港常陸那珂港区の整備・利用促進(港湾建設負担金, コンテナ貨物集荷促進事業)(企画部 企画調整課)	○港湾建設負担金国直轄事業 ■東防波堤(ケーソン据付2函, ケーソン製作1函) ■中央ふ頭地区 ・水深12m岸壁(ケーソン製作1函) ・水深14m岸壁(詳細設計, 埋立免許申請等)	84,960	134,766	134,766	0	○直轄事業 ■東防波堤(ケーソン据付2函) ■中央ふ頭地区 ・水深12m岸壁(ケーソン製作1函, 基礎工) ・水深14m岸壁(詳細設計, 埋立申請, 基礎工)	100%	
		○コンテナ貨物集荷促進事業 常陸那珂港振興協会が実施するコンテナ貨物の荷主企業等を助成する事業の原資の一部を負担	10,850	10,850	10,850	0	○申請実績 ・インセンティブ事業 (荷主)新規利用 コンテナ1,871本 継続利用 コンテナ 757本 (船社) コンテナ3,500本 (フォワーダー) コンテナ 250本 ・トライアル事業 1件	100%	
4-10	企業誘致の取組(企業立地セミナー, ポートセールス)(企画部 企画調整課)	○セミナーによるひたちなか地区PR(3回)	139	139	128	0	・いばらき産業立地セミナーin東京(R6.11.21) ・茨城港北関東セミナー(R7.1.30) ・茨城県産業立地セミナーin大阪(R7.2.13)	100%	
		○ポートセールスによる常陸那珂港区PR(1回) ※当初予定していた海外ポートセールスについては,常陸那珂港振興協会との調整により実施しないこととなり,事業計画を変更した。	1,771	74	74	0	(国内) ・神戸ポートセールスを実施(R6.11.14~15)	100%	
4-11	産業活性化コーディネーターによる伴走支援(経済環境部商工振興課)	○産業活性化コーディネーターを5名配置し,中小企業の課題に対し伴走支援を実施する。また,5名の内1名を創業担当コーディネーターとし,創業希望者等に対する伴走支援を実施する。	19,905	19,905	19,905	0	・訪問企業数 1,930社, 面談者数 2,381件 ・創業支援者 43名, 相談件数 205件 ・創業支援ネットワーク会議 年2回	100%	
4-12	創業支援促進事業補助金(経済環境部商工振興課)	○創業を促進し,もって市内における産業を振興するとともに雇用の創出を図るため,創業者に対し,創業に要する経費の一部を補助する。	1,500	1,300	1,239	0	補助件数:7件 補助額:1,239千円 (エステサロン, 足裏マッサージ, 脱毛サロン, 建築設計, 飲食店(2), 菓子製造)	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
4-1-3	ふるさと納税の取組 (企画部 企画調整課)	○ふるさと納税業務 地場産品や実際に市を訪れていただく「体験型」等、返礼品の充実を図るとともに、寄付者との接点となるポータルサイトを拡充することで、寄付受入件数の拡大を図るとともに、本市の魅力発信や地場産業の活性化、交流人口・関係人口の拡大に努める。 【積算】 ・委託料196,069千円 ・通信運搬費45千円 ・手数料1,748千円 ・広告料1,000千円 ・補助金2,000千円	200,862	198,753	198,412	0	○ふるさと納税業務委託(完了) ポータルサイトを運営する11社に委託して返礼品の提供を行った。 【令和6年度実績】 ■件数:20,181件 ■寄付金額:3億4,634万1千円 ※参考 【令和5年度実績】 ■件数:21,268件 ■寄付金額:3億5,987万9千円	100%	

## 5. 快適で機能的な住みよいまちづくり

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-1	佐和駅周辺地区整備事業 (都市整備部 都市計画課)	○工事 ・東口広場整備工事 (シェルター, 交流広場等) 1式 ・西口広場改修工事 1式 ・東口アクセス道路整備工事 1式 ・市道563号線整備工事 1式	510,971 (繰越)	510,971	293,133	166,157	○工事 東口広場整備工事(シェルター等) 完了(2件) 西口広場改修工事 完了(1件), 契約済み未完了(2件) 東口アクセス道路整備工事 完了(2件) 市道563号線整備工事 完了(1件)	88%	
5-2	佐和駅自転車駐車場整備事業 (市民生活部 生活安全課)	○佐和駅東口南自転車駐車場整備 ・屋根付きサイクルラック140台分(自転車130台 収容, バイク10台収容) ・工事監理委託	70,796	39,765	39,765	0	○令和7年3月完了	100%	
		【繰越事業】 ○佐和駅西口自転車駐車場整備 ・アスファルト舗装=1,313㎡, コンクリート舗 装=425㎡, 屋根付きサイクルラック404台(自転 車384台収容, バイク20台収容), 照明柱4基, プ リント舗装  ○佐和駅東口北自転車駐車場通路整備 ・アスファルト舗装=128㎡, 車線分離標6本, 車 止め(門型)2本, 車止め(移設)1本	93,815 (繰越)	67,472	67,472	0	○12月完了  ○令和7年3月完了	100%	
5-3	東部第1土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理二課)	○工事 ・73街区擁壁工事	22,600 (繰越)	22,600	19,778	0	○工事 73街区擁壁工事 完了(1件)	100%	
		○公有財産購入 ・中根地区緑地用地買収 6名 12筆 2,944㎡	33,620	33,355	27,341	6,014	○用地 完了(6名 11筆) 未完了(1名 1筆)	92%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-4	東部第2土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理二課)	○統合調整池整備 ・統合調整池築造工事	100,000 (繰越)	100,000	60,170		○工事 統合調整池築造工事 完了(1件)	100%	
		○西原長砂線整備 ・建築物移転補償(1戸)	9,500 (繰越)	9,500	9,500		○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	100%	
		○向野西原線整備 ・建築物移転補償(2戸)	76,213	69,278	48,478	20,800	○補償 建築物移転補償 契約済み未完了(2戸)	50%	
5-5	佐和駅東土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理一課)	○佐和駅東口交通広場整備 ・佐和駅東口交通広場整備(A=3,600㎡) 1式	69,245 (繰越)	69,245	69,234	0	○工事 交通広場整備 完了(2件)	100%	
		○佐和停車場高野線整備 ・道路改良工事(L=143m)	7,128 (繰越)	7,128	6,505	0	○工事 道路改良工事 完了(2件)	100%	
		○佐和停車場高野線整備 ・道路改良工事(L=115m) ・建築物移転補償(3戸)	169,400	181,114	126,925	54,189	○工事 道路改良工事 契約済み未完了(1件) ○補償 建築物移転補償 完了(1戸) 契約済み未完了(2戸)	58%	
		○高場高野線整備 ・道路改良工事(L=32m)	2,200 (繰越)	2,200	2,200	0	○工事 道路改良工事 完了(1件)	100%	
		○高場高野線整備 ・道路改良工事(L=118m) ・建築物移転補償(1戸)	76,600	76,600	43,664	28,428	○工事 道路改良工事 契約済み未完了(1件) 未契約(1件) ※6月契約予定 ○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	63%	
		○勝田佐野線外1路線整備 ・道路改良工事(L=37m)	1,760 (繰越)	1,760	1,760	0	○工事 道路改良工事 完了(1件)	100%	
		○武田本町線整備 ・道路改良工事(L=61m) ・建築物移転補償(1戸)	19,851 (繰越)	19,851	19,302	0	○工事 道路改良工事 完了(1件) ○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	100%	
5-6	武田土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理一課)	○武田本町線整備 ・道路改良工事(L=217m) ・建築物移転補償(3戸)	179,100	175,408	147,555	27,853	○工事 道路改良工事 完了(1件) 契約済み未完了(1件) ○補償 建築物移転補償 完了(2戸) 契約済み未完了(1戸)	79%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未達の理由及び今後の対策
5-7	六ッ野土地区画整理事業 (都市整備部 区画整理事業課)	○中根六ッ野線整備 ・道路改良(L=280m) ○補償 ・建築物移転補償(1戸)	109,126	107,792	99,058	8,228	○工事 道路改良工事 完了(1件)  ○補償 建築物移転補償 契約済み未完了(1戸)	75%	
		○中根六ッ野線整備 ・道路改良(L=74.9m) ○補償 ・建築物移転補償(6戸) ・工作物移転補償(1件)	86,746 (繰越)	86,746	86,606	0	○工事 道路改良工事 完了(1件)  ○補償 建築物移転補償 完了(6戸) 工作物移転補償 完了(1件)	100%	
5-8	阿字ヶ浦土地区画整理事業 (都市整備部 那珂湊地区土地 画整理事務所)	○湊線延伸用地確保 ・建築物移転補償(1戸)	15,300 (繰越)	15,300	15,300	0	○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	100%	
		○湊線延伸用地確保 ・事業計画変更委託	23,518	21,780	0	21,780	○委託 事業計画変更委託 契約済み未完了(1件)	50%	
		○阿字ヶ浦東通り線整備 ・実施設計委託 (阿字ヶ浦東通り線交差点詳細設計委託)	5,300	5,313	0	5,313	○委託 設計業務委託 契約済み未完了(1件)	50%	
5-9	船窪土地区画整理事業 (都市整備部 那珂湊地区土地 画整理事務所)	○事業計画書の変更 ・事業計画変更委託 (都市計画道路富士ノ上阿字ヶ浦線の一部区間廃 止に伴う事業計画変更)	11,300 (繰越)	11,300	9,570	0	○委託 事業計画変更委託 完了(1件)	100%	
		○船窪和尚塚線整備 ・建築物移転補償(1戸)	40,300	40,300	40,109	0	○補償 建築物移転補償 完了(1戸)	100%	
5-10	東中根高場線道路改良事業 (都市整備部 都市計画課)	○工事 ・道路改良工事, 交差点改良工事 1式	151,391 (繰越)	151,391	143,604	0	○工事 道路改良工事, 交差点改良工事 完了(3件)	100%	
		○工事 ・現橋歩道整備工事 1式 ○委託 ・JR工事委託 ※R3~6債務負担 1式	140,400	118,752	118,441	0	○工事 現橋歩道整備工事 完了(1件) ○委託 JR工事委託(電力設備支障復旧) 完了(1件)	100%	
5-11	新中央図書館整備 (教育委員会 中央図書館)	○幅広い世代が居心地よく利用できる魅力的な図 書館整備に向け, 設計に取り組む。 ※債務負担行為(R6~R7)	72,303	62,700	62,700	0	○公募型プロポーザル実施(5/7~8/25) ○1回新中央図書館整備検討委員会開催(8/28, 「新中央図書館設計業務契約予定者の決定につい て」) ○新中央図書館設計業務契約 ※10/8契約締結 ○新中央図書館市民ワークショップ開催 (11/24, 12/8, 12/22)	50%	

No.	項目	事業計画	当初予算額	最終補正(流用)後額	決算(見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-12	中心市街地エリアの価値向上のための計画策定 (企画部 企画調整課)	○つながる中心市街地まちづくり計画(仮称)の策定 新中央図書館の整備にあわせ、中心市街地エリアのにぎわいや活力を創出するため、今年度と来年度の2年間で令和8年度を初年度とする「つながる中心市街地まちづくり計画(仮称)」を策定する。今年度は、ワークショップ等を通じて多様な意見を取り入れながら、目指す将来像やその実現のための施策を検討していく。	13,902	13,902	13,479	0	○つながる中心市街地まちづくり計画(仮称)の策定 本エリアの関係者への個別ヒアリングを実施するとともに、当該関係者同士がつながる場づくりとして、市民ワークショップを開催し、中心市街地に求める魅力(あったらいいモノ・コト、理想のイメージ)などについて参加者同士で意見交換を実施した。今年2月にはシンポジウムを開催し、本計画の進行状況を関係者と共有するとともに、中心市街地で自分がやってみたい企画を「小さく試す」社会実験を実施した。また、庁内においては、関係部署が参画するプロジェクトチームを発足し、これまでの取組で把握してきた中心市街地に関する市民等の意見を共有しながら横断的な意見交換を重ねた。これらの取組を通じて、市民の共感、活動意欲を高めながら計画策定に取組めた。	100%	
5-13	湊公園斜面緑地安全対策事業 (都市整備部 公園緑地課)	○工事 ・湊公園崖地崩落防止工事(A=400㎡)	59,763	59,763	59,763	59,763	○工事 湊公園崖地崩落防止工事 未契約 ※6月契約予定	0%	設計に伴う現場精査に時間を要しているが、6月契約の見通し。
		○工事 ・湊公園避難路整備工事(L=30m)	9,724	9,724	9,724	9,724	○工事 湊公園避難路整備工事 契約済み未完了(1件)	50%	
5-14	公共交通の充実 (企画部 企画調整課)	○スマイルあおぞらバスの運行 ・運行委託料 茨城交通 5路線 さくら交通 3路線	151,719	147,119	147,119	0	○コミュニティ交通運行事業委託料(完了)  【利用者数実績】※R6.4~R7.3 茨城交通 5路線 167,169人 (前年比109.2%) さくら交通 3路線 39,531人 (前年比114.0%)	100%	
		○地域公共交通利用喚起事業補助(繰越) 基幹的な地域交通について、定時定路線での運行を維持するため、利用促進を目的に、1日フリー券の割引販売の実施に対して補助する。 ・補助額 : 1枚あたり400円程度 (券種による) ・実施期間 : R6.4.1~R7.1.6	28,000	28,000	26,507	0	○地域公共交通利用喚起事業補助金(完了)  【補助対象事業者及び実績】 ひたちなか海浜鉄道株式会社 : 14,000,000円(R6.4.6~R6.9.17) 茨城交通株式会社 : 12,506,600円(R6.4.6~R6.5.2)	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-15	ひたちなか海浜鉄道への支援 (企画部 企画調整課)	○利用促進事業 湊線存続や利用促進のために活動している市民 団体に対し運営費の一部を補助する。	500	500	500	0	○おらが湊鐵道応援団補助金 R6.6.25交付決定(未精算)  【令和6年度おらが湊鐵道応援団事業内容】 ・那珂湊駅サービスステーションの運営 ・応援団報の作成・配布 など	50%	
		○安全運行を確保するための支援(繰越) 湊線の設備投資に係る経費に対し補助する。 1. 信号保安設備 踏切保安設備及び器具箱更新 (柳沢第3) 踏切保安設備更新(日工前) 2. 線路設備 道床交換(那珂湊駅構内上り本線) 3. 車両更新(キハ100 2両購入) 4. 車両増備 (観光列車用キハ100 1両購入) 5. 車両検査 全般検査(1両:キハ11-7) 重要部検査 (2両:キハ3710-01, キハ37100-03)	107,700	107,700	88,163	0	○湊線設備投資費補助金(完了) R6.4.30交付決定 1. R6.9.30契約 R7.3月5日完了 2. R6.9.30契約 R6.12月24日完了 3. R6.6.19契約 R6.12月27日完了 4. R6.6.19契約 R7.2月28日完了 5. 全般検査 R6.5.30契約 R6.11月30日完了 重要部検査 R6.5.30契約 R6.11月30日完了	100%	
		○環境整備事業(繰越) 利便性及び快適性の向上及び利用の促進を図る ため、環境整備及び利用促進に係る経費の一部を 補助する。 1. 車内案内表示の3カ国語化 2. 車内案内放送の2カ国語化 3. 観光列車整備	3,678	3,678	3,588	0	○湊線環境整備費補助金(完了) R6.4.30交付決定 1. R6.12.2契約 R7.2月28日完了 2. R6.12.2契約 R7.3月7日完了 3. R6.12.2契約 R7.2月28日完了	100%	
5-16	環境保全意識の啓発(経済環境 部 環境政策課)	○小学生から中学生までの各年齢層に応じた資料 を使いながら意識啓発を実施する。 計画実施学校数7校	96	96	96	0	○環境学習 計画実施校数7校、実施校数5校(小学 校4校8回, 中学校1校1回実施) 5(校) / 7(校) × 100 = 71.4%	71%	
5-17	地球温暖化対策の積極的な推進 (経済環境部 環境政策課)	○自立・分散型エネルギー設備導入促進事業太陽 光発電設備と蓄電システムを合わせて設置する家 庭に対し、費用の一部を支援する。補助件数: 60件	3,000	2,600	2,600	0	○自立・分散型エネルギー設備導入促進事業 計画 件数60件, 補助交付件数52件 補助交付額2,600,000円 52(件) / 60(件) × 100 = 86.6%	87%	
5-18	カーボンニュートラル実現に向 けた計画の策定(経済環境部 環境政策課)	○2050年までに温室効果ガス削減目標を達成する ため、太陽光等の再生可能エネルギーの利活用促 進に向けた計画を策定する。	12,271	5,390	5,390	0	○委託事業者と計画内容、進捗状況について月に2 回程度打合せをし、計画の策定が完了した	100%	
5-19	家具や家電などをリユース、リ サイクルする民間事業者との連 携(経済環境部廃棄物対策課)	市民がインターネットなどで手軽に業者に申込み が出来るよう、民間業者2社と事業連携協定を締 結し、家具などの粗大ごみのリユースやパソコン の無料回収・リサイクルを推進。 ○㈱マーケットエンタープライズ(リユ ースプラットフォーム「おいくら?」) ○リネットジャパンリサイクル㈱	-	-	-	-	○おいくら? 依頼件数 179件 商品数 496点(家具262点, 家電132点 など) ○リネットジャパンリサイクル(1月末現在) 回収件数 469件(パソコン679台, 携帯171台 など) 回収重量 5663.8kg	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
5-20	生ごみ処理容器購入事業補助金 (経済環境部廃棄物対策課)	生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器を購入した市民に対し助成を実施。 ○助成金額=購入価格の1/2(上限2万円)	1,160	1,282	1,282	0	申請数 助成金額 ・コンポスト容器 35基 130,295円 ・密閉型発行容器 2基 2,180円 ・電動式処理容器 64基 1,145,562円 ・その他処理容器 1基 3,592円 合計 102基 1,281,629円	100%	
5-21	小型家電回収ボックスの商業施設への設置 (経済環境部廃棄物対策課)	レアメタルを多く含む携帯電話等の小型家電をリサイクルするため、地域のコミュニティーセンターなどの公共施設に回収ボックスを設置。 ○令和6年度末現在 16箇所	-	-	-	-	令和6年4月から、いばらきコープひたちなか店(高場地内)へ回収ボックスを設置。(市内の商業施設として初) ○コープひたちなか店の回収量 68.2kg ○全16箇所の回収量 713.0kg (3月末現在)	100%	
5-22	再生資源回収事業補助金 (経済環境部廃棄物対策課)	ごみの減量化資源の再生利用などを目的に、各地域で出された資源物に対し、自治会等へ助成を実施。 ○助成金額 10円/kg	42,000	35,878	34,143	0	回収量 助成金額 88団体 3,414,209kg 34,142,090円 ※下期の支払いは5月下旬予定	100%	
5-23	子ども会育成連合会資源回収事業補助金 (経済環境部廃棄物対策課)	「児童がリサイクルを通じて資源の大切さを学ぶ機会の充実」を図るため、回収を実施した各単位子ども会に助成を実施。 ○助成金額 8円/kg	1,610	910	690	0	回収量 助成金額 26団体 86,192kg 689,536円 ※下期は11団体が実施	100%	
5-24	産業交流フェアでの周知啓発 (経済環境部廃棄物対策課)	産業交流フェアにおいて、粗大ごみとして出された家具等の再生販売や職員のバンドによる啓発ソングの演奏などを実施。	52	52	52	0	令和6年11月2,3日実施(再生家具57点販売) その他、ひたちなかアドベンチャー(10月5,6日14点販売)、環境シンポジウム(2月9日21点販売)でも実施している。	100%	

## 6. 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
6-1	自立と協働のまちづくりの推進 (市民生活部 市民活動課)	○コミュニティーセンター等の地域運営支援 地域活動の拠点であるコミュニティーセンター等(11施設)の運営を支援する。	209,840	209,840	209,603	0	○地域の特性を活かしながら、適切な施設管理・運営を行うため、定期的に代表者会議等を開催し、市職員も交えた意見交換や情報提供・共有を図った。 ・代表者会議①令和6年7月31日(水) ②令和7年3月27日(木) ・事務局長会議等①令和6年6月26日(水) ②令和6年10月10日(木) ③令和7年2月26日(水) ・全体会議①令和6年11月30日(土) ・事務担当者懇談会①令和6年12月6日(金)	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
		○まちづくり市民会議の運営支援 市内9つのコミュニティ組織が開催する市民会議の運営を支援する。	1,044	1,044	1,016	0	○各コミュニティ組織に対し、市民会議運営費用を補助し、運営支援を行った。 ○佐野地区をモデル地区とし、課題抽出から解決に向けた会議の進め方等、会議運営に直接関わっていただく市民会議アドバイザーを配置し、市民会議の活性化を図った。 ★印：市民会議アドバイザー参加日 ★第1回：令和6年6月7日（金） 第2回：令和6年9月5日（木） ★第3回：令和6年10月4日（金） 第4回：令和6年11月26日（火） ★第5回：令和7年2月7日（金）	100%	
		○市民活動団体交流会まちづくりcaféの開催（大島地区、那珂湊地区で開催） 地域において活躍する多様な活動団体の交流の場を創出し、新たなつながりによる協働のまちづくりに繋げる。	380	392	316	0	○市民活動団体交流会まちづくりcafé 【大島地区】 第1回：令和6年9月23日（月）22名参加 第2回：令和6年10月19日（土）21名参加 【那珂湊地区】 第1回：令和7年2月15日（土）38名参加 第2回：令和7年3月15日（土）33名参加	100%	
6-2	持続可能な自治会活動への支援 （市民生活部 市民活動課）	○自治会活動のICT化推進 補助金の活用や、講座等の開催により、ICT化の推進を図る。 ○自治会への加入促進 自治会加入促進動画や加入促進チラシの活用により、自治会活動の理解を深め、加入促進に繋げる。	2,746	2,026	1,113	0	○自治会活動のICT化推進 ・自治会活動ICT化推進補助金の交付。 15件 711,660円交付。 ・自治会向けICT講座の開催。（2回） ①ICT交流勉強会（11月4日）19名参加 ②LINE公式アカウント活用講座 （2月8日）13名参加 ○自治会への加入促進 ・加入促進チラシ（10,000部増刷） ・加入促進チラシの活用によるPR ・自治会加入促進に関する協定を締結。 茨城県宅地建物取引業協会（12月24日） 全日本不動産協会茨城県本部（2月19日）	100%	
6-3	公共施設マネジメントの推進 （総務部 資産経営課）	人口減少社会を見据えた持続可能な行財政運営を実現していくため、複合化や多機能化を視野に入れた施設保有量の適正化に関する方針の策定に取組む。	0	0	0	0	○施設保有量の適正化に関する方針策定 施設保有量適正化を検討する上で基本となる施設カルテ（施設の基本情報や利用状況、財務状況等を1枚の様式にまとめたもの）を作成済。 今後は、施設カルテや施設所管課で考えた施設のあり方等を踏まえ、方針を策定していく。	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
6-4	新本庁舎の建設検討（総務部 資産経営課）	新本庁舎の建設に向け、庁舎建設基金への積み増しを行うとともに、市民や職員へのアンケート調査を行うことにより、「基本構想」を策定する。	13,300	10,000	10,000	0	○庁舎建設基金元金積立金 令和6年度 10,000千円 ○新本庁舎建設検討委員会 1回開催 ○基本構想策定検討分科会 3回開催 ○市民意見把握アンケート 1,015件回答 ○職員意見把握アンケート 614件の意見 ○基本構想（素案）作成完了	100%	
6-5	基幹系システムの標準化・共通化 （企画部 デジタル推進課）	令和7年度までに基幹系20業務を国の標準仕様書に準拠したシステムに移行する。	127,875	127,875	125,952	0	・基幹系17業務を標準準拠システムに移行（12月） ・残り3業務（生活保護、戸籍、戸籍附票）は期限（R8.3月）までに移行する予定	100%	
6-6	行政情報の発信 （企画部 広報広聴課）	○SNSを活用した情報発信 ・市公式TikTok開設 ・LINEクーポンの配信 ・SNS利用キャンペーンの開催	321	321	221	0	○市公式TikTokに動画を7本掲載 ○市公式LINEの友だち数の増加 ・クーポン参加事業者（月替わり制）延べ35事業者 ・市公式LINE友だち数 R6.3末：28,335人 9月末30,748人 R7.3末：32,627人	100%	
6-7	マーケティング推進事業 （企画部 企画調整課）	○学生エール便事業 進学のため市外に転出した学生等に特産品を送付し、市公式LINEへの登録等により、つながりを維持する。	4,756	4,627	4,337	0	○学生エール便事業 5月10日から6月10日までの受付期間に783名の応募があった。市公式LINEからの申込としたことによりLINE登録者数の増にも寄与することができた。申込者の中から絆構築プロジェクトへの申込者が出ており、他事業への波及効果が表れている。	100%	
		○絆構築プロジェクト 本市出身の市外在住学生や都市部学生等から参加者を募集し、本市の課題を解決するためのフィールドワーク等を実施し、UIJターン就職等につなげていく。	4,485	4,485	4,400	0	○絆構築プロジェクト業務委託（完了） 【委託業務の主な内容】 ・プロジェクトの企画運営、参加者募集 ・プロモーション 本プロジェクトには23名（市内出身5名、市外出身7名、県外出身11名）の応募があった。そこから12名を選考し、「地域×メディアコース」と「地域×スポーツコース」に分かれ、8月から12月にかけて、3泊4日の企画合宿、実践、成果報告会等を実施した。また、参加学生以外の若者の本プロジェクトや本市への関心を高められるよう、まちづくりや地域活性化等に興味のある学生が多く閲覧をしているウェブメディア等に本プロジェクトに関する情報を掲載した。	100%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
		○ファン共創事業 本市のファンが集う場をつくり、横の連携や共感・愛着・信頼を増やし、関係人口の拡大や定住人口の増加につなげる。	5,241	5,241	5,006	0	○ひたちなかファン共創事業 10月に参加者がそれぞれの推しポイントを紹介し合い、まちの魅力を再発見するワークショップを開催し、4つのまち巡りプランを制作した。一般参加者を募って体験ツアーを実施し、市民ライター「いいとこ発信隊」が記事化した。本記事を活用した一般投票には1,445票が集まった。また、応援大使・黒沢かずこ氏が各プランから選定されたスポットを巡る特別ツアー動画を制作し、市公式YouTubeで公開した。さらに、4つのまち巡りプランの魅力を伝える「推しのまち巡りMAP」を制作し、市役所や各種観光施設に配置した。	100%	
		○市民サポーターによるSNSを活用したまちの魅力発信事業 SNSを活用し、子育て世代やF1層の共感が得られるような本市での「充実した暮らし」をイメージできる情報発信を行う。いいとこ発信隊は任期が1年であるため、「いいとこ発信隊4期生」として、市民サポーターを公募後、サポーター養成講座で基本スキルを取得し、市民目線で情報を発信していく。	502	502	427	0	○いいとこ発信隊運営事業 公募選考を経て決定した9名の隊員に対し、サポーター養成講座を4回実施し、10月1日より「いいとこ発信隊4期生」として、市民目線でまちの魅力を発信している。10月5日・6日には、3期生と4期生が合同で、市内商業施設にて写真展を開催した。多くの方に本写真展にご来場いただき、Instagramのフォロワー増加につながった。	100%	
		○移住促進の取組 都内で開催される移住フェア等に参加し、地方移住に関心の高い層に対して本市の魅力をアピールするとともに、移住検討者向けのお試し移住ツアーを開催する。 【積算】 ・お試し移住ツアー事業523千円 ・移住関連イベントへの参加300千円	823	790	592	0	○移住関連イベントへの参加 以下の2つの移住フェアに参加し、来場者に本市の魅力をアピールするとともに、お試し移住ツアーの案内を行った。 ・9/22：NPO法人ふるさと回帰支援センター主催「第20回ふるさと回帰フェア2024」 ・12/8：一般社団法人移住交流推進機構主催「移住・地域おこしフェア2024」 ○お試し移住ツアー事業 実施時期や内容等、完全オーダーメイドの移住体験ツアーを1泊2日から3泊4日の行程で実施した。6組14名が参加し、3月末時点において2組5名が本市に移住した。	100%	
		○わくわく茨城生活実現事業移住支援金 東京23区内からの移住の促進と中小企業等における人手不足の解消を目指し、県が定める一定の要件に該当する移住者に支援金を交付。 【積算】 ・2人以上世帯：1,000,000円×11件 ※子育て世帯への加算：子ども1人につき1,000,000円×14件 ・単身世帯：600,000円×9件	30,400	24,200	23,200	0	○わくわく茨城生活実現事業移住支援金 【令和6年度実績】 ■助成件数：16件 ・2人以上の世帯9件 ※子育て世帯への加算10件 ・単身世帯7件 ■助成金支払額計：23,200千円 ■年間見込み件数：20件 【事業達成率】 16/20=80%	80%	

No.	項目	事業計画	当初 予算額	最終補正 (流用)後 額	決算 (見込)額	繰越額	達成状況	事業達成率	50%未満の理由及び今後の対策
6-8	市誕生30周年記念事業 (企画部 企画調整課)	○市誕生30周年記念事業の実施 市誕生30周年を市民の皆様はもとより、本市と関わりを持つ多くの方と祝うため、1年を通して文化、芸術、スポーツ、産業、教育等、様々な分野において記念事業を実施する。市が主催する事業のほか、他団体と連携して実施する事業等も記念事業に位置付け、30周年を祝う多様な機会を創出することで、より多くの方が本市の魅力を感じ、まちに対するシビックプライドを高めることを目指す。	3,886	3,886	2,895	0	○市誕生30周年記念事業の実施 年度当初39事業を予定していた記念事業は、“共に祝う”という基本方針に賛同していただいた市内の団体や企業が主催する行事を加えることができ、最終的に82事業まで拡大し、祝祭感が広がるとともに、シビックプライドの醸成につながった。 これら記念事業全体のコーディネートを行うとともに、「ネモフィラ早朝満喫鑑賞体験」等、当課所管の記念事業を実施した。また、記念ノベルティを4種類作成し、各種記念事業等で配布することで機運醸成を図った。	100%	
6-9	市第4次総合計画の策定 (企画部 企画調整課)	○市第4次総合計画の策定 今年度と来年度の2年間で令和8年度を初年度とする「第4次総合計画」を策定する。今年度は、様々な市民参加の機会を設けながら、市民の皆様と将来都市像を考え、基本構想の骨子を策定する。	16,097	15,465	15,363	0	○市第4次総合計画の策定 第4次総合計画の策定に当たっては、策定を契機にまちづくりへの共感や参加意欲が高まるよう、8月の「キックオフイベント」に続き、9月から12月にかけて「ひたちなか未来デザイン会議～総合計画ワークショップ～」(全5回)、1月に市民と市職員がそれぞれの立場で意見を交換する「ひたちなか未来デザイン会議～NEXTステージ～」(全3回)を開催した。これらの取組を通じて寄せられた意見について、“市民が目指す暮らしの姿”という観点から内容を整理し、一定の集約を図ることができた。また、これらの策定プロセスを適宜、庁内に共有するとともに、参加者以外の市民にも広く伝えられるよう市報等での周知を図った。	100%	